ポインティング デバイスおよびキーボード
ユーザー ガイド

初版：2009 年 3 月

製品番号：506139-291

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

目次

1　ポインティング デバイスの使用

名称		説明
（1）	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドの有効/無効を切り替えます
（2）	タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
（3）	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
（4）	タッチパッド ランプ	• 白色：タッチパッドが有効になっています • オレンジ色：タッチパッドが無効になっています
（5）	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
（6）	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

*この表では初期設定の状態について説明しています。タッチパッドの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションなどの、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： ポインターの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

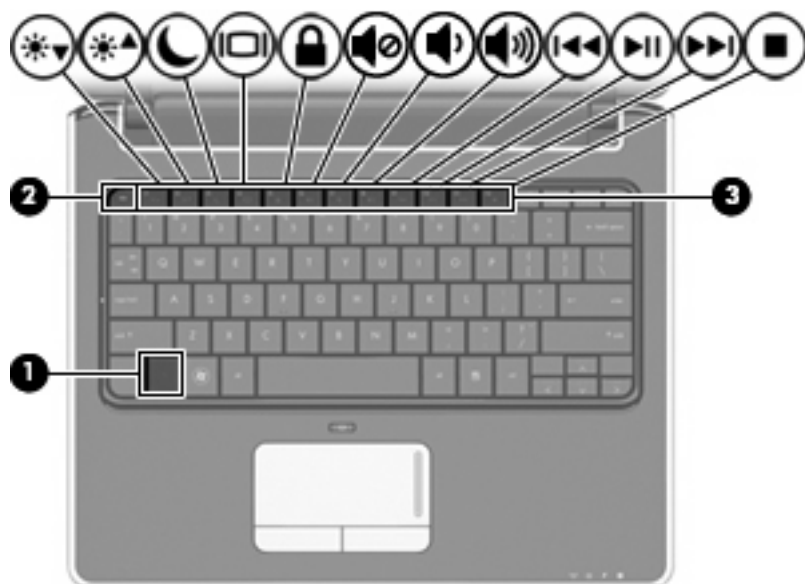
外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピューターに接続できます。

2　キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（1）と、esc キー（2）またはファンクション キーのどれか（3）の組み合わせです。

f1 ～ f12 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表します。ホットキーの機能および操作についてこの章の各項目で説明します。

機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn ＋ esc
画面輝度を下げる	fn ＋ f1
画面輝度を上げる	fn ＋ f2
ハイバネーションを開始する	fn ＋ f3
画面を切り替える	fn ＋ f4
[QuickLock]を開始する	fn ＋ f5
スピーカーの音を消す	fn ＋ f6
スピーカーの音量を下げる	fn ＋ f7

機能	ホットキー
スピーカーの音量を上げる	fn ＋ f8
オーディオ CD、DVD、または BD の前のトラックまたはチャプターを再生する	fn ＋ f9
オーディオ CD、DVD、または BD を再生、一時停止、または再開する	fn ＋ f10
オーディオ CD、DVD、または BD の次のトラックまたはチャプターを再生する	fn ＋ f11
オーディオ CD、DVD、または BD を停止する	fn ＋ f12

コンピューターのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

システム情報を表示する（fn ＋ esc）

fn ＋ esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn ＋ esc を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS の日付として表示されます。一部の機種では、BIOS の日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

画面の輝度を下げる（fn ＋ f1）

fn ＋ f1 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる（fn ＋ f2）

fn ＋ f2 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

ハイバネーションを開始する（fn ＋ f3）

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、ハイバネーションを開始する前に必ずデータを保存してください。

ハイバネーションを開始するには、fn ＋ f3 を押します。

ハイバネーションを開始すると、情報がハードドライブのハイバネーション ファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

ハイバネーションを開始するには、コンピューターの電源が入っている必要があります。

ハイバネーションを終了するには、電源スイッチを短くスライドさせます。

fn ＋ f3 ホットキーの機能は変更が可能です。たとえば、ハイバネーションではなくスリープを開始するように fn ＋ f3 ホットキーを設定することもできます。

画面を切り替える（fn ＋ f4）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn ＋ f4 を押します。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、fn ＋ f4 を押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。fn ＋ f4 ホットキーでは、コンピューターからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn ＋ f4 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピューター本体のディスプレイ）
- 外付け VGA（ほとんどの外付けモニター）
- S ビデオ（S ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤー、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）
- HDMI（HDMI コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤー、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）
- コンポジット ビデオ（コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤー、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）

注記： コンポジット ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスか拡張製品を使用する必要があります。

[QuickLock]を開始する（fn ＋ f5）

[QuickLock]セキュリティ機能を開始するには、fn ＋ f5 を押します。

[QuickLock]はオペレーティング システムの[ログオン]ウィンドウを表示して、情報を保護します。[ログオン]ウィンドウが表示されているときには、Windows のユーザー パスワードまたは Windows の管理者パスワードが入力されるまでコンピューターに接続できません。

注記： [QuickLock]を使用する前に、Windows のユーザー パスワード、または Windows の管理者パスワードを設定する必要があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

[QuickLock]を使用するには、fn ＋ f5 を押して[ログオン]ウィンドウを表示し、コンピューターをロックします。次に、画面の説明に沿って Windows のユーザー パスワードまたは Windows の管理者パスワードを入力し、コンピューターにアクセスします。

スピーカーの音量を消す（fn ＋ f6）

fn ＋ f6 を押してスピーカーの音量を消します。スピーカーの音量を元に戻すには、もう一度ホットキーを押します。

スピーカーの音量を下げる（fn ＋ f7）

fn ＋ f7 を押してスピーカーの音量を下げます。このホットキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります。

スピーカーの音量を上げる（fn ＋ f8）

fn ＋ f8 を押してスピーカーの音量を上げます。このホットキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります。

オーディオ CD、DVD、または BD の前のトラックまたはチャプターを再生する（fn ＋ f9）

オーディオ CD、DVD、または BD の再生中に fn ＋ f9 を押すと、CD の前のトラックまたは DVD か BD の前のチャプターが再生されます。

オーディオ CD、DVD、または BD を再生、一時停止、または再開する（fn ＋ f10）

fn ＋ f10 ホットキーの機能は、オーディオ CD、DVD、または BD が挿入されているときにのみ機能します。

- オーディオ CD、DVD、または BD が再生中でない場合、fn ＋ f10 を押すと再生が開始または再開されます。
- オーディオ CD、DVD、または BD の再生中に fn ＋ f10 を押すと、再生が一時停止します。

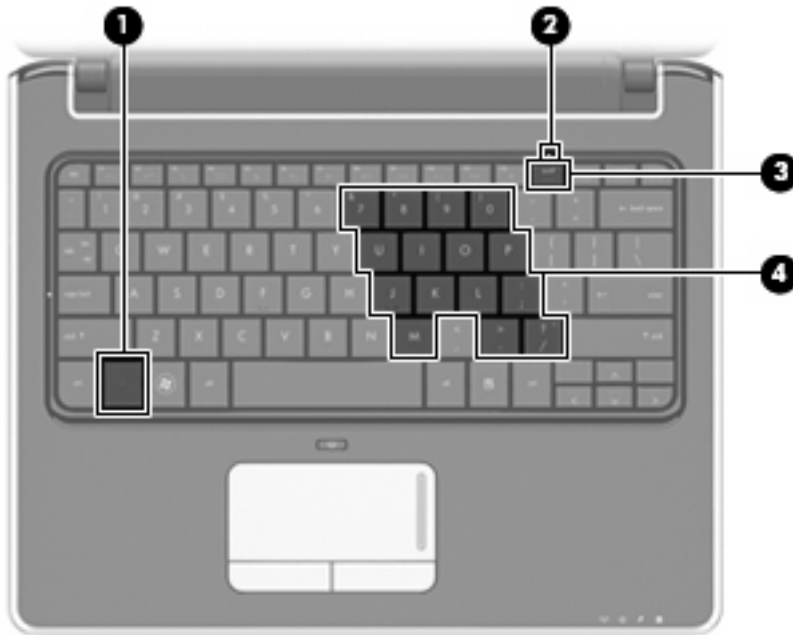
オーディオ CD、DVD、または BD の次のトラックまたはチャプターを再生する（fn ＋ f11）

オーディオ CD、DVD、または BD の再生中に fn ＋ f11 を押すと、CD の次のトラックまたは DVD か BD の次のチャプターが再生されます。

オーディオ CD、DVD、または BD を停止する（fn ＋ f12）

オーディオ CD、DVD、または BD の再生を停止するには、fn ＋ f12 を押します。

3 テンキーの使用

お使いのコンピューターには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

	名称	説明
(1)	fn キー	num lk キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります
(2)	Num Lock ランプ	● 内蔵テンキーが有効な状態です または ● 接続されている別売のテンキーで Num Lock が有効な状態です

	名称	説明
（3）	num lk キー	● fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります または ● 接続されている別売のテンキーにある num lk キーの有効/無効が切り替わります
（4）	内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます（上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです）

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn ＋ num lk キーを押します。Num Lock ランプが点灯します。fn ＋ num lk キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記： 外付けキーボードやテンキーがコンピューターまたは別売のドッキング デバイスか拡張製品に接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使用して、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、fn キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押したまま文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押したまま文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、次のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピューターの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピューターの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピューターではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

4 タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗います。

⚠ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

索引